

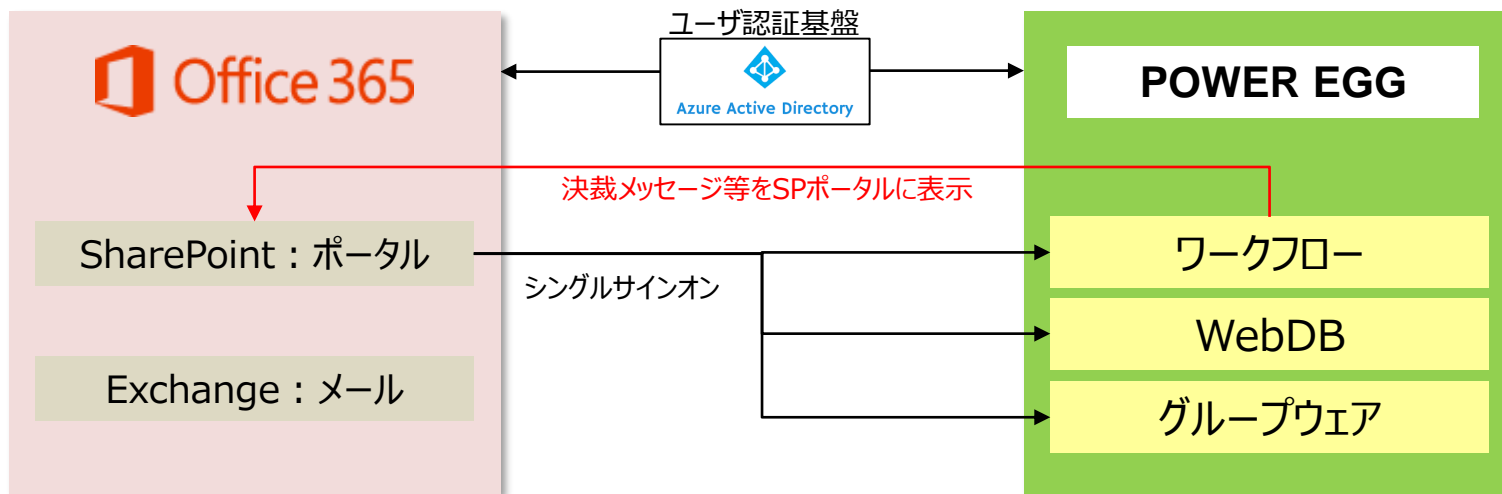
POWER EGG 3.0 Office 365連携

2019年8月

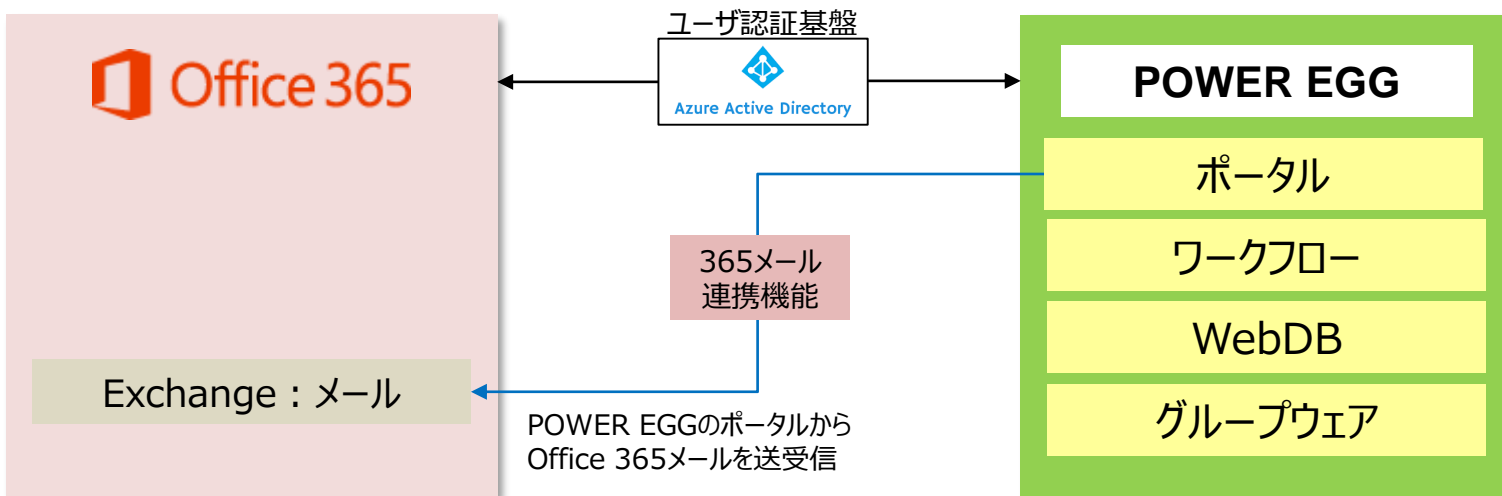
ディサークル株式会社

修正日・版	修正箇所・内容
2018/09/14 1.0版	初版 発行
2019/08/30 2.0版	Azure Active Directory管理センターのUI変更に対応

Office 365利用ユーザ向け連携モデル：パターン①



POWER EGG利用ユーザ向け連携モデル：パターン②



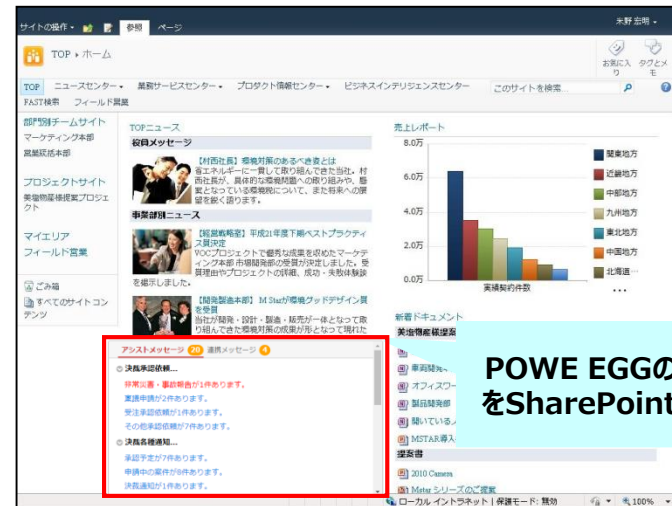
連携イメージ図①

パターン1 : Office 365からPOWER EGGにシングルサインオン

①Office 365にログイン



②. SharePointにログインし、POWER EGGアシストメッセージを表示



POWE EGGの決裁メッセージをSharePointポータルに表示

②Office 365メニューからPOWER EGGを起動



③POWER EGGにシングルサインオンし、ナビビューを表示



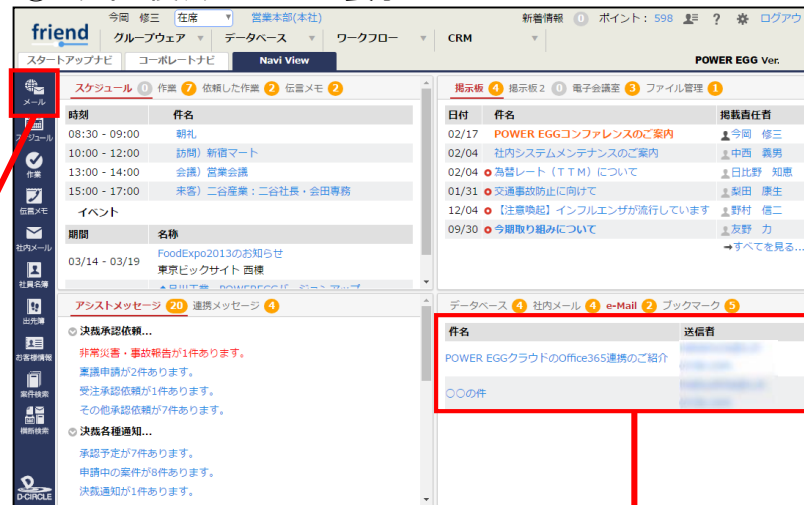
連携イメージ図②

パターン2 : POWER EGGからOffice 365にシングルサインオン

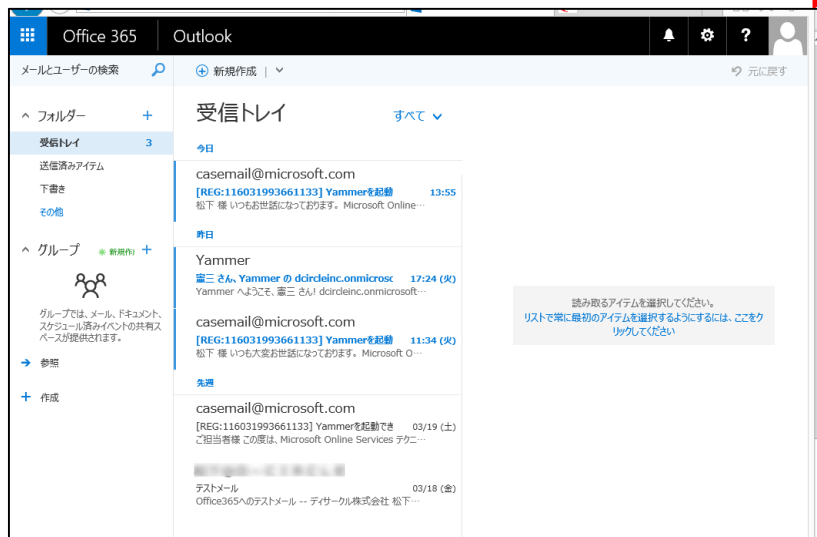
①POWER EGGのログイン時、Office 365(Azure AD)のログイン画面を表示



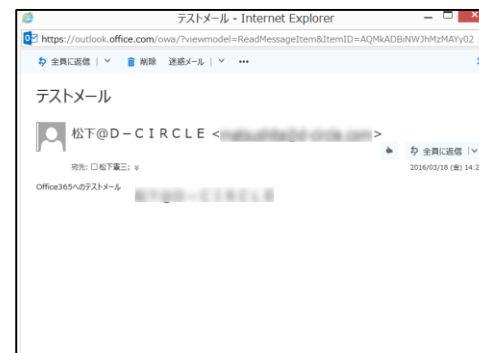
②ログイン後、ナビビューを表示



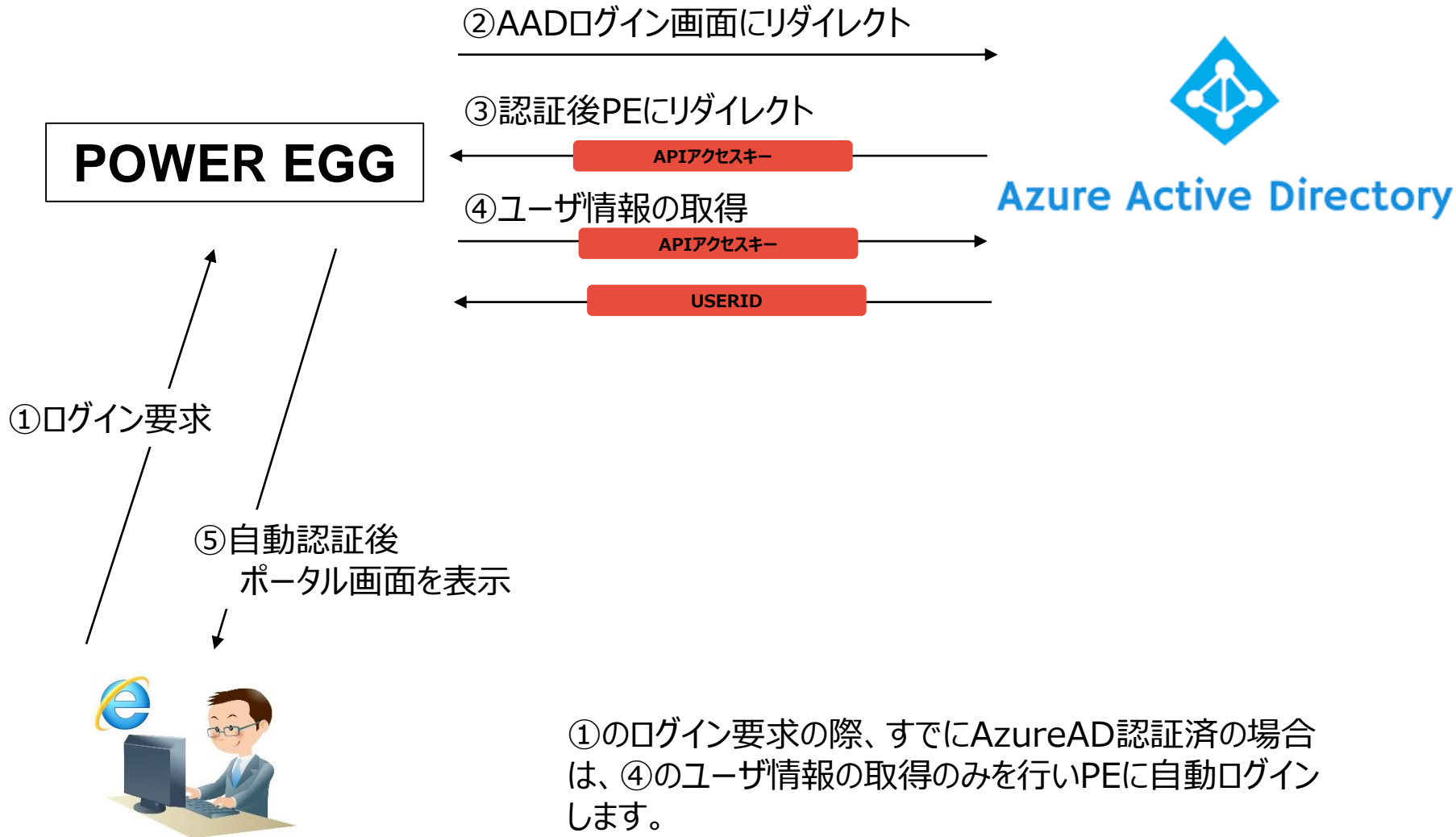
③ダイレクトメニューからOffice 365にシングルサインオン



④ナビビューから、Office 365のメールを表示



365メール
連携機能



①のログイン要求の際、すでにAzureAD認証済の場合は、④のユーザ情報の取得のみを行いPEに自動ログインします。

認証プロトコルには、OpenIDを利用しています。

Office 365のログインIDをPOWER EGGの社員情報の「メモ1」にセットします。

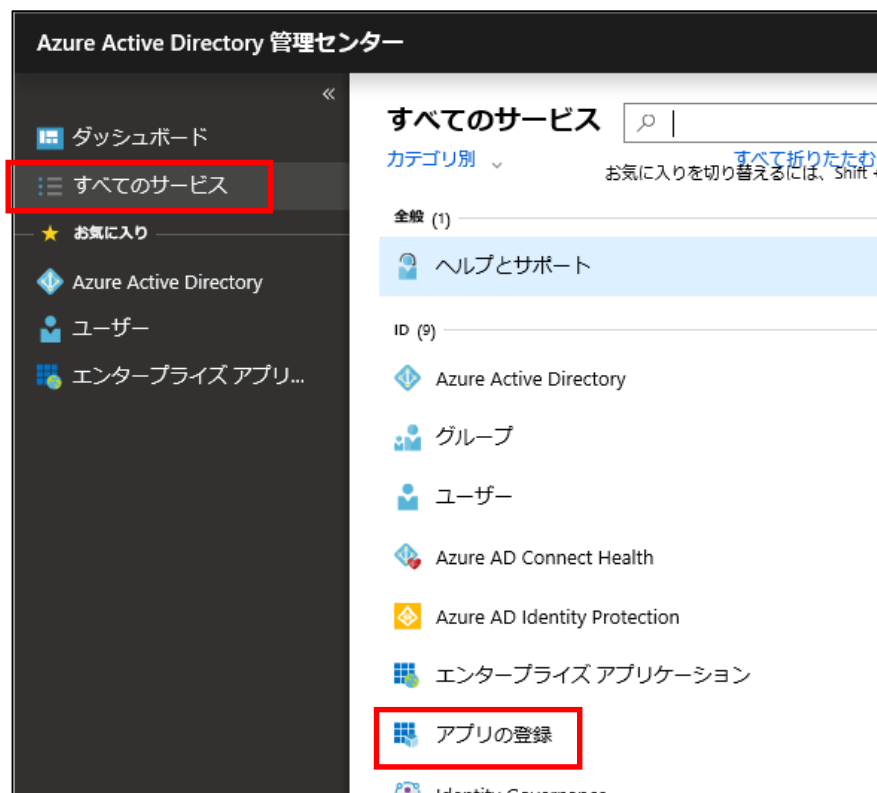
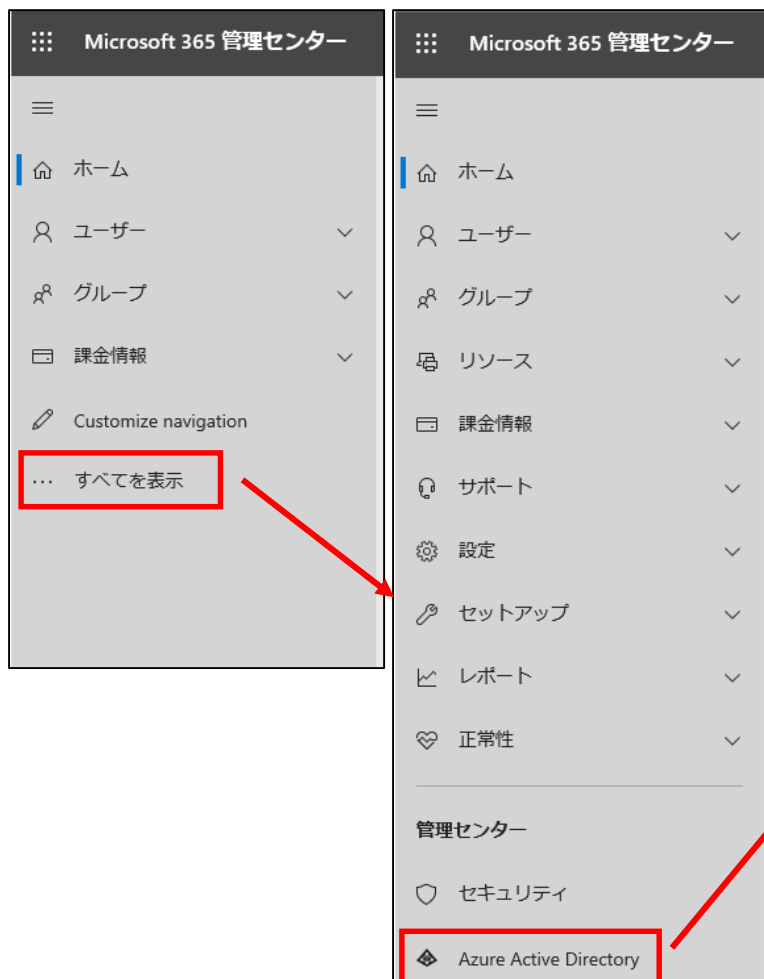
例： Office 365ログインID： imaoka@o.d-circle.com



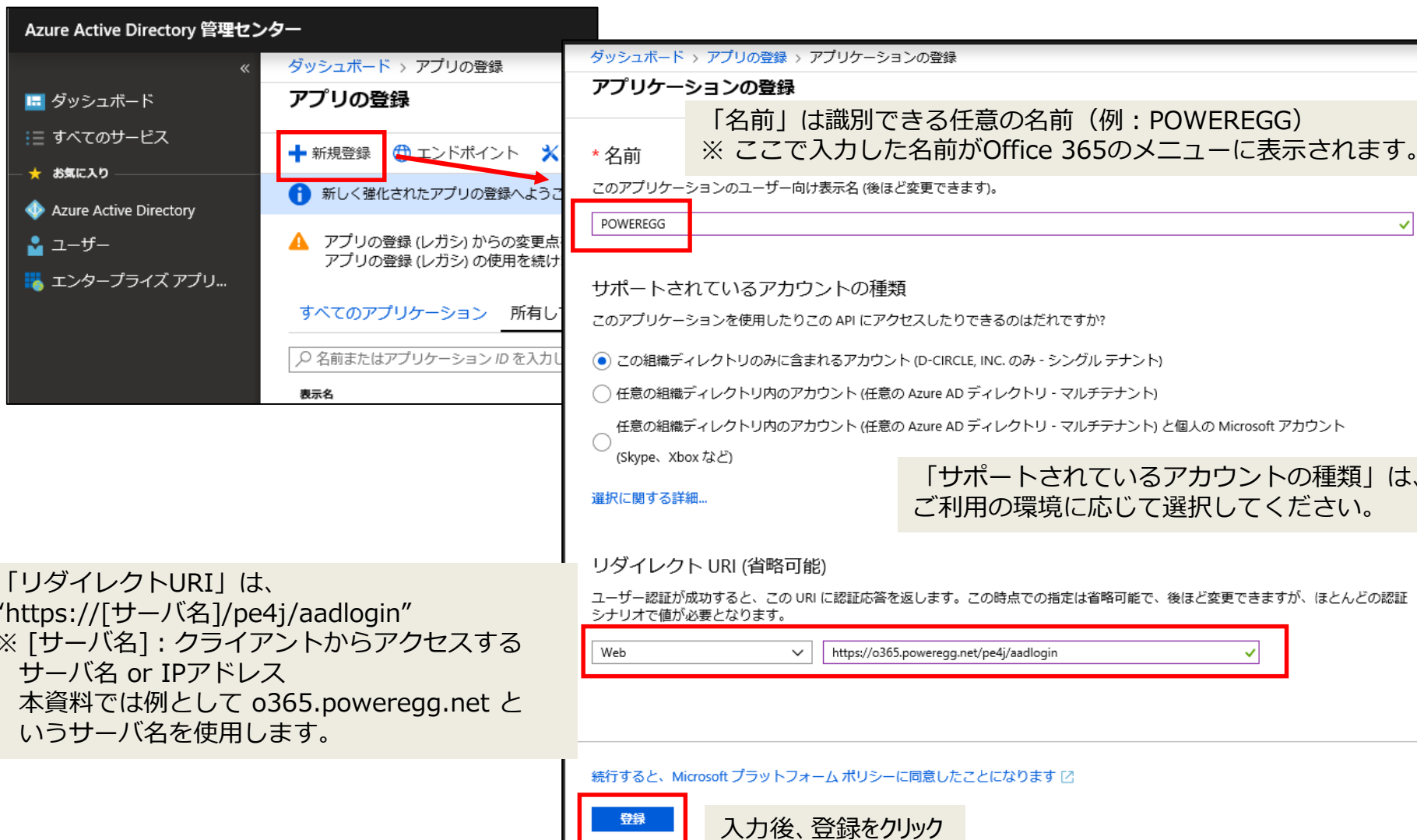
POWER EGG社員情報のメモ1： imaoka@o.d-circle.com

ユーザー、グループ等のAzure ADとの連携機能はありませんので、POWER EGGの組織情報（社員、部門等）はPOWER EGG側にあらかじめ登録しておく必要があります。

Office 365にログインし、管理画面から「Azure Active Directory 管理センター」を開き、「アプリの登録」を開きます。



「アプリの登録」で「新規登録」を押し、アプリケーションの登録を行います。



Azure Active Directory 管理センター

ダッシュボード > アプリの登録

アプリの登録

+ 新規登録 エンドポイント

新しく強化されたアプリの登録へようこ

アプリの登録 (レガシ) からの変更点
アプリの登録 (レガシ) の使用を続け

すべてのアプリケーション 所有し

名前またはアプリケーション ID を入力し

表示名

ダッシュボード > アプリの登録 > アプリケーションの登録

アプリケーションの登録

「名前」は識別できる任意の名前 (例 : POWEREGG)
※ ここで入力した名前がOffice 365のメニューに表示されます。

* 名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後ほど変更できます)。

POWEREGG

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?

この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (D-CIRCLE, INC. のみ - シングルテナント)

任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)

任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)

選択に関する詳細...

「サポートされているアカウントの種類」は、
ご利用の環境に応じて選択してください。

リダイレクト URI (省略可能)

ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

Web

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります

登録

入力後、登録をクリックしてください。

「リダイレクトURI」は、
“https://[サーバ名]/pe4j/aadlogin”
※ [サーバ名] : クライアントからアクセスする
サーバ名 or IPアドレス
本資料では例として o365.poweregg.net と
いうサーバ名を使用します。

登録したアプリケーションの「認証」の設定を行います。

最初に「認証」を選択してください。

保存

下記項目の設定後、「保存」を押してください。

「リダイレクトURI」に “https://[サーバ名]/pe4j/aadlogin4sharepoint” を追加

リダイレクト URI
https://o365.poweregg.net/pe4j/aadlogin
URIの追加

リダイレクトURIの入力欄が表示されていない場合は、「URIの追加」リンクを押してください。

IDトークン

「暗黙の付与」で「IDトークン」にチェックを入れてください。

アプリケーションの「APIのアクセス許可」の設定を行います。

ダッシュボード > アプリの登録 > POWEREGG - API のアクセス許可

POWEREGG - API のアクセス許可

検索 (Ctrl+/)

概要
クイックスタート

管理
最初に「APIのアクセス許可」を選択してください。

証明書とシークレット
APIのアクセス許可
APIの公開
所有者
ロールと管理者 (プレビュー)

API のアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてAPIを呼び出すことが承認されます。アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める。

[+ アクセス許可の追加](#)

API / アクセス許...	種類	説明
Microsoft Gra		

[User.Read](#) 委任済み Sign in and re

「Microsoft Graph」をクリック

API アクセス許可の要求

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com
アプリケーションに必要な

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サイ
セスする必要があります。

アクセス許可を選択する

検索するテキストを入力

アクセス許可

- email
View users' email address

Microsoft Graphの下記の委任されたアクセス許可を追加

- email
- Mail.Read
- Mail.Read.Shared
- Mail.ReadBasic

Mail (3)

- Mail.Read
Read user mail
- Mail.Read.Shared
Read user and shared mail
- Mail.ReadBasic
Read user basic mail
- Mail.ReadWrite
Read and write access to user mail

「アクセス許可の更新」を押して戻り、「(組織名)に管理者の同意を与えます」をクリック

[アクセス許可の更新](#) [破棄](#)

同意する

管理者は、このディレクトリのすべてのユーザーにユーザーに管理者の同意を与えると、エンドユーザー同意画面が表示されなくなります。

[D-CIRCLE, INC. に管理者の同意を与えます](#)

D-CIRCLE, INC. のすべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか? この操作により、このアプリケーションが既持っている既存の管理者の同意レコードが、以下の一覧の内容に一致するよう更新されます。

はい いいえ

アプリケーションの「クライアントシークレット」の設定を行います。

ダッシュボード > アプリの登録 > POWEREGG - 証明書とシークレット

POWEREGG - 証明書とシークレット

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、アプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアントシークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

最初に「証明書とシークレット」を選択してください。

「説明」：任意の説明
有効期限：任意の有効期限
※ 有効期限が切れると連携できなくなるため、「なし」を推奨します。

このアプリケーションには証明書が追加されていません。

押印	開始日	有効期限
----	-----	------

クライアントシークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーションパスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアントシークレット

説明	有効期限	値
----	------	---

このアプリケーションのクライアントシークレットは作成されていません。

クライアントシークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーションパスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアントシークレット

説明	有効期限	値
POWER EGG KEY	2299年1...	5.zQ@AkAaZglpJ8yo5]ji+MwUFyr8C-q [↑]

「説明」：任意の説明
有効期限：任意の有効期限
※ 有効期限が切れると連携できなくなるため、「なし」を推奨します。

クライアントシークレットの追加

説明
POWER EGG KEY

有効期限
 1年
 2年
 なし

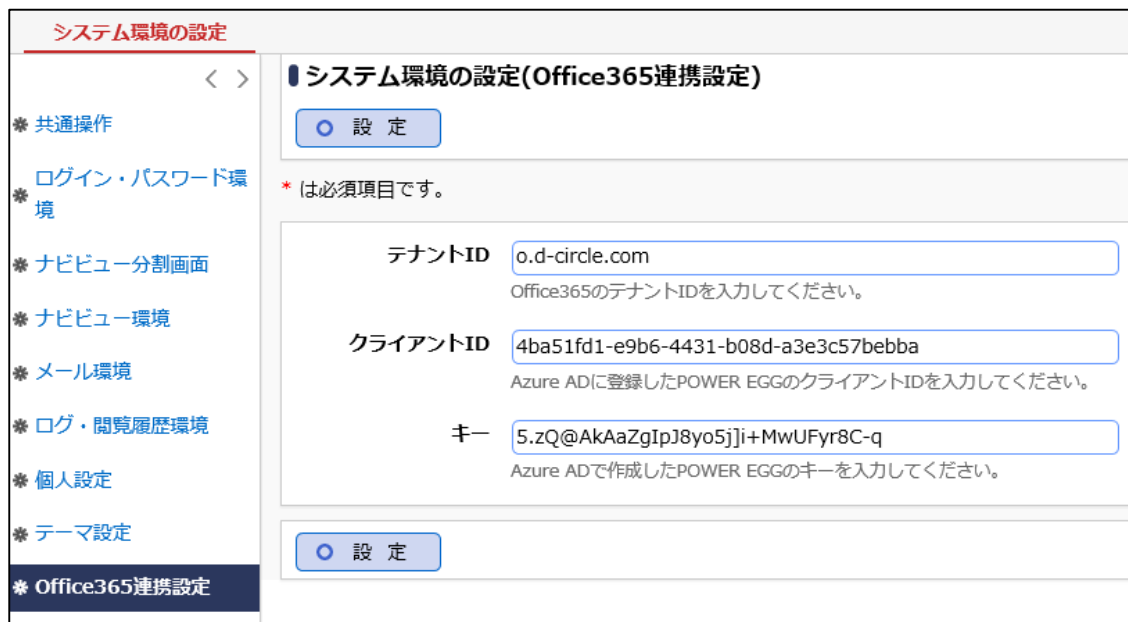
追加 キャンセル

追加されたクライアントシークレットの「値」を、テキストファイル等に保存しておいてください。

※ 「値」は、後から参照できなくなります。わからなくなった場合は、クライアントシークレットを削除して再作成してください。

POWER EGG上で、Office365連携に必要な情報を設定します。

POWER EGG[システム設定]-[システム環境の設定]-[Office365連携設定]



システム環境の設定

システム環境の設定(Office365連携設定)

設定

* は必須項目です。

テナントID
Office365のテナントIDを入力してください。

クライアントID
Azure ADに登録したPOWER EGGのクライアントIDを入力してください。

キー
Azure ADで作成したPOWER EGGのキーを入力してください。

設定

- テナントID : Office365のテナントID(メールアドレスの@以降の部分、ドメイン名)
- クライアントID : アプリケーション(クライアント)ID ※ アプリケーションの「概要」で確認できます。
- キー : クライアントシークレットの「値」



ダッシュボード > アプリの登録 > POWEREGG

POWEREGG

検索 (Ctrl+F)

削除 エンドポイント

新しく強化されたアプリの登録へようこそ
ご希望ですか?

概要

表示名
POWEREGG

アプリケーション(クライアント) ID
4ba51fd1-e9b6-4431-b08d-a3e3c57bebbba

SharePointにWebパーツとしてPOWER EGGのURLを設定します。
POWER EGGへのログインは、SSOで自動的に行われます。

設定するURL : `https://サーバー名/pe4j/aadlogin4sharepoint`



SharePointポータルにアシストメッセージを表示する場合は、POWER EGGはhttpsプロトコルでアクセスするように設定する必要があります。
(httpsでないと、ブラウザのセキュリティによりページが表示できません)

SharePointの設定方法の詳細は、別紙「モダンUIのポートレット登録方法」をご参照ください。

- PCリマインダー、リマインダー for iPhone、リマインダー for Androidは、Office 365のシングルサインオンには対応していません。（※POWER EGGに登録されているユーザーIDとパスワードでログインする必要があります）
- SharePointのポータルにアシストメッセージを表示するWebパーツを利用する場合はPOWER EGGサーバはhttpsによるアクセスが可能である必要があります。
- ログインしていない状態から、POWER EGGの特定のページにアクセスするときに表示される「ログイン画面」はOffice 365の認証連携に対応していません。
- POWER EGGナビビューのe-Mailタブには、Office 365の受信トレイの未読メールのみが表示されます。受信トレイ配下に作成したフォルダ内の未読メールは表示対象になりません。